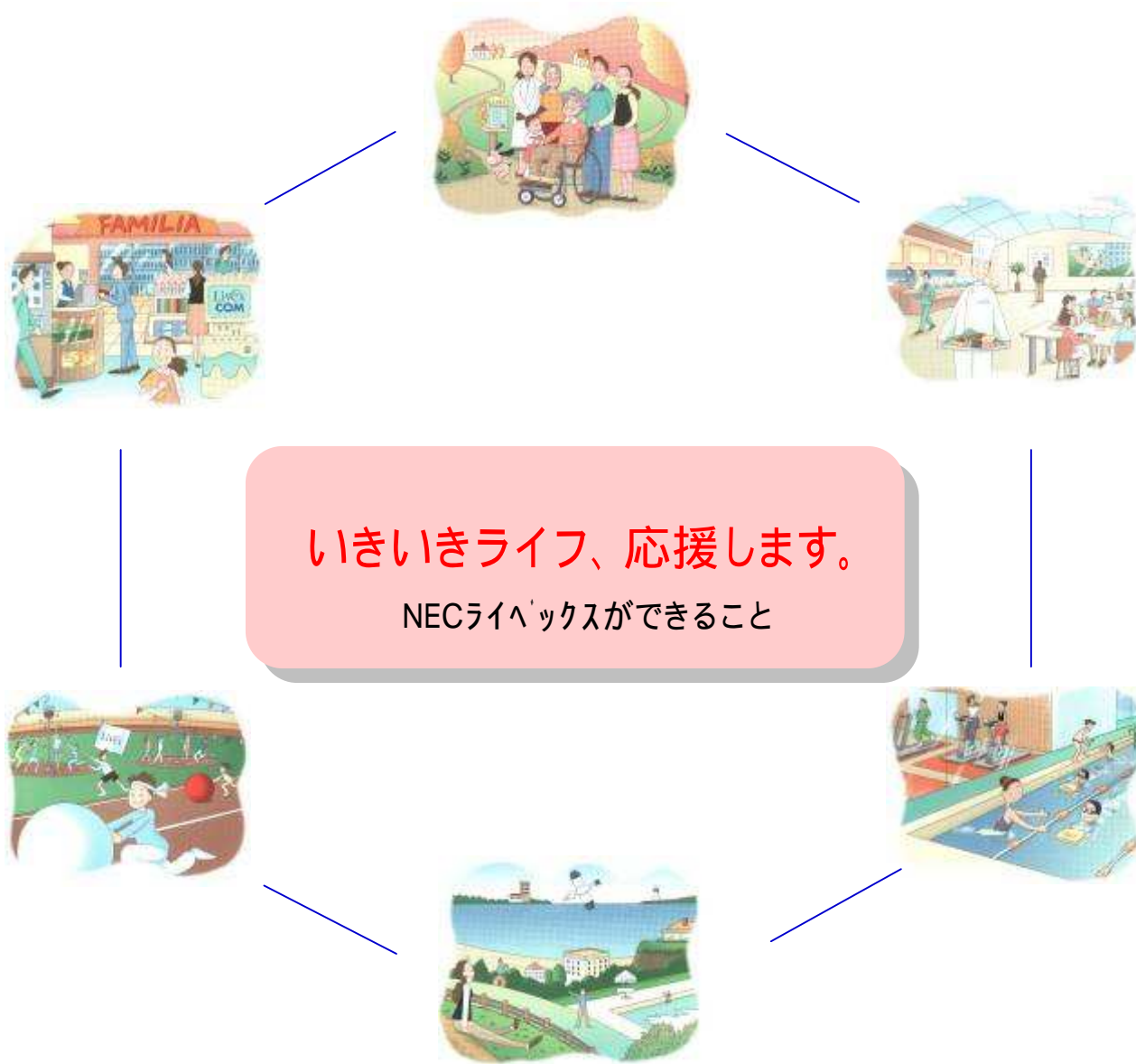


環境アニュアルレポート2011



株式会社NECライブックス

目次

	頁
ごあいさつ	2
1. 会社概要	3
2. 環境マネジメントシステム	
(1) 環境方針	4
(2) ISO14001 認証取得	5
(3) 環境管理体制	5
(4) 内部監査・NEC環境経営監査・ISO14001 審査	7
(5) 法遵守実施状況	7
(6) 環境教育・意識啓発活動	8
3. 2010年度環境目標・実績	9
4. 主な環境負荷低減活動	10
5. 2011年度環境目標	16
6. 社会貢献活動	17

本報告書は、次の対象範囲、活動期間についてまとめております。

対象範囲: ISO14001 認証取得範囲の拠点
 本社および8関連事業所 (P6参照)
活動期間: 2010年4月1日 ~ 2011年3月31日

ごあいさつ

NECライベックスは、1970年に発足以後‘いきいきライフ応援企業’として、食の安心・安全を基本とし、お客さまに快適で健康に配慮した食事のご提供、必要な品揃えによる商品のご提供など、サービスを通じて福利厚生を担う会社として事業活動を行なってきました。

当社は、NECグループ企業の一員として、NECグループビジョン2017「人と地球にやさしい情報社会」の実現に向け、今まで培いました食の安心・安全とそれを支える情報システムを活用することにより、健康と環境・エコを両立させた事業を展開しております。

健康については、“健康・カラダサポート”を事業のキーワードとし、また、環境・エコについては、地球温暖化防止の省エネルギーによるCO2排出量削減や、省資源、廃棄物削減・リサイクル推進など、事業部主体の活動として取り組んでおります。

昨今、食堂部門では、NEC玉川事業場での「食物循環システム」の継続や、全国の拠点での食育フェアを中心とした地産地消活動と共に、必要な栄養素をバランスよく摂取し「からだと環境にやさしい」ヘルシーランチの提供を行っています。

一方、売店部門では、LED電球、エネルギーなど環境貢献商品の販売促進、NECと連携したレジ袋削減活動「レジでエコ」が継続的に展開され、大きな成果を得ております。このように、事業部主体の環境活動が着実に進む中で大切なことは、従業員ひとり一人の環境意識と行動の向上であります。今後も、全員参加で環境への取り組みを進めてまいりたいと考えます。

この度、2010年度の環境活動の内容や結果をとりまとめ、「環境アニュアルレポート2011」として発行いたしました。

本環境報告書をご覧頂き、NECライベックスの環境活動へのご理解とご意見を賜りますようお願い申し上げます。



2011年 11月 1日
株式会社NECライベックス
執行役員社長 佐竹 茂紀

1. 会社概要

当社は、NECグループ各社の福利厚生業務の専門アウトソーシング会社として、「いきいきライフ応援します」を合言葉に専門性の追求と品質・サービスの拡充に努め、お客様により満足のいただけるライフソリューションのご提供を心がけております。

会社名:株式会社NECライベックス

本社:東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル6F

設立:昭和45年10月

代表者:代表取締役執行役員社長 佐竹 茂紀

資本金:1億円

従業員数:2,356名(2011年3月末現在)

売上高:176億円(2010年度実績)

事業内容:NECグループを中心とした福利厚生、オフィスビジネス等のサービス事業

営業拠点:全251拠点(2011年4月1日現在)

経営ビジョン

顧客本位

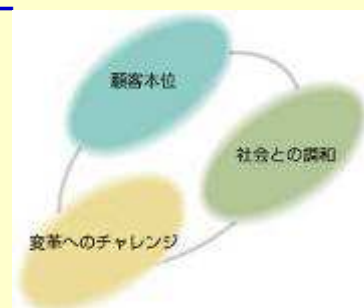
お客様の声を大切にし、最高のサービスを創造、提供します。
福利厚生のコントラクト事業を通じ、最も信頼されるパートナーとなります。

変革へのチャレンジ

従業員の尊厳を守り、自主性、創造性を大切にすることで、変化への的確に対応します。

社会との調和

地域や社会の一員として、積極的に社会に貢献します。



2. 環境マネジメントシステム

(1) 環境方針

～ 2009年9月1日改訂～

【環境理念】

NECライベックスは、”いきいきライフ応援”企業として、福利厚生を中心としたサービス事業を通じて豊かな循環型社会の実現に貢献します。

【行動指針】

事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、環境目的・目標を設定し、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的な改善を図ります。
環境に配慮したサービス事業を行うために、次の活動を重点的に取り組みます。

- (1) 健康支援活動の推進
- (2) 省エネルギー及び省資源の推進
- (3) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- (4) 食事ロスの低減
- (5) 環境に配慮した商品の販売促進

国・地方自治体などの環境関連法規制及び当社が同意する業界の規範、行政との協定、指針等の要求事項を順守し、継続的に汚染の予防を図ります。

従業員への環境教育及び意識啓発を行い、従業員一人ひとりが良き企業市民として行動し、社会に貢献します。

環境方針は、当社で働く及び当社のために働くすべての人に周知すると共に、社外に公開します。

制定日：2007年4月1日
改訂日：2009年9月1日
株式会社NECライベックス
執行役員社長 佐竹 茂紀



環境方針ポスター

(2) ISO14001認証取得

当社は、1998年10月、オフィス向け食堂・売店を運営する複合事業体として、業界で初めてISO14001を認証取得しました。また、2007年12月、本社および8カ所の関連事業所に取得範囲を拡大しました。

登録事業者：株式会社NECライベックス 本社

登録活動範囲：

NECグループを中心とした福利厚生、オフィスビジネス等のサービス業
(売店・食堂・宿泊研修施設運営、厚生文体施設運営管理、ヘルス&スポーツに関する事業及びその付帯業務)

関連事業所：

フースターミナル品川、大橋会館、NECグリーンプラザ玉川・溝の口、NEC本社ビル、玉川地区、府中地区、我孫子地区

審査機関：(財)日本品質保証機構(JQA)

登録証番号：JQA-EM5952Q

登録日：2007年11月22日

初回登録日(JACO)：1998年10月27日

登録更新日：2010年3月19日

有効期限：2013年3月18日

統合：JQA-EM5759をJQA-EM5952に統合



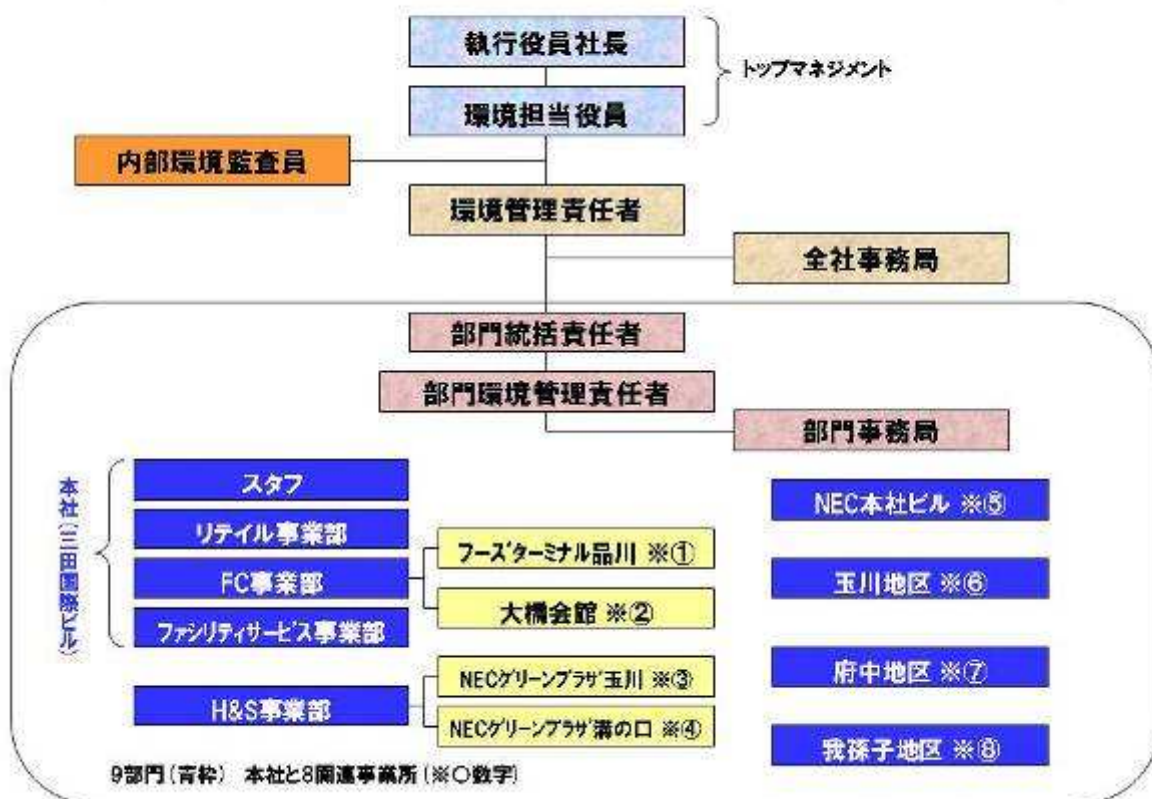
ISO14001登録証

(3) 環境管理体制

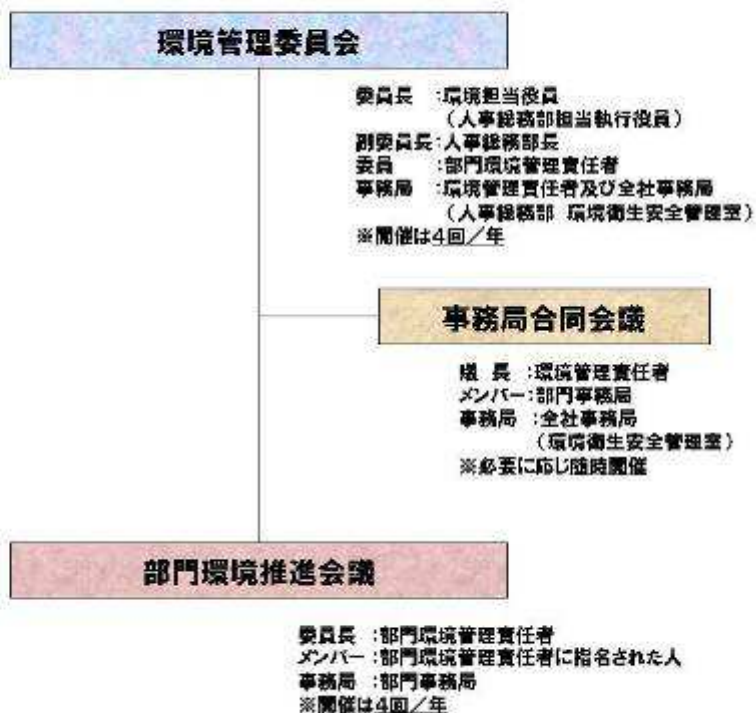
環境管理責任者は、環境方針との整合、著しい環境側面、法的要求事項及びその他の環境上の要求事項等を考慮のうえ、全社の環境目的・目標を立案し、環境経営委員会の審議のもと、全社実施計画を策定します。また、部門環境管理責任者は、これをもとに部門の環境目的・目標を策定し、部門環境推進会議等を通じて部門内に展開します。

社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の制定、改訂 環境管理マニュアルの制定、改訂 	部門統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> 自部門の必要な経営資源の確保
環境担当役員	<ul style="list-style-type: none"> 経営資源の確保 環境経営委員会主催(委員長) 規程類の制定、改訂 環境目的、目標、実施計画の承認 内部監査員の任命 マネジメントレビュー 	部門環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営委員会の委員 部門環境推進会議主催(議長) 自部門の環境活動推進統括
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 全社のEMSの運用管理統括 環境方針の周知 環境経営委員会幹事 事務局合同会議議長、監査リーダー 	部門事務局	<ul style="list-style-type: none"> 自部門の環境活動の実務的推進者 自部門の目的・目標・計画作成 計画の進捗管理 環境推進会議事務局 内部監査員
全社事務局	<ul style="list-style-type: none"> 全社EMSの実務上の運用管理 全社目的・目標・計画作成 著しい環境側面評価・特定 委員会、会議事務局、監査リーダー 	部門担当者	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の分別、計量 無駄な照明の消灯 きれいな受付、笑顔の販売 etc.

環境管理体制図



環境管理推進体制図



(4) 内部監査・NEC環境経営監査・ISO14001審査実施状況

内部監査

10月5-18日、NECから内部監査員の支援をいただき全部門(10部門)の内部監査を実施しました。

指摘事項については、全て改善済

NEC環境経営監査

2月24-25日、NEC環境経営監査が行われ“ISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムが維持管理されている。”と評価をいただきました。

(評価できる点:5件、推奨・提案:5件、改善を要する:0件、課題:7件)

改善を要する点、課題については、全て改善済



ISO14001審査

2009年度よりNEC分身ソフト・サービス代替審査の枠組みに入り、2010年度のISO14001定期審査は免除されております。

(5) 法遵守実施状況

4月と10月の2回、環境関連の法律、条令、その他要求事項について、順守評価を実施し、全ての実施状況について問題がないことを確認いたしました。

< 環境法令該当施設・機器・人 >

拠点 / 該当施設・機器・人	該当法令
<u>GSC溝の口</u> バコテンヒータ(1台):ばい煙発生施設 灯油地下タンク(1ヶ所):危険物貯蔵所 灯油タンク(3ヶ所):少量危険物貯蔵所 浄化槽(1ヶ所) 特別産業廃棄物管理責任者	大気汚染防止法 消防法 川崎市火災予防条例 浄化槽法 廃掃法
<u>フーズターミナル品川</u> 玉ねぎ皮むき用コンプレッサ(2台)	騒音規制法 振動規制法

(6) 環境教育・意識啓発活動

環境一般教育・専門教育の実施



11月15-29日、一般従業員を対象に環境一般教育を実施しました。

受講者:960人

形式:Web、集合教育(延べ13回開催)

内容:環境方針、目的・目標、役割等

その他、新入社員教育、内部監査員フォローアップ教育、新任EMS推進者教育等も実施しました。(4月、9月、11月)

環境クイズの実施

6月、環境クイズを実施しました。(今年で9回目)

参加人数:1,687名(全従業員の60%)

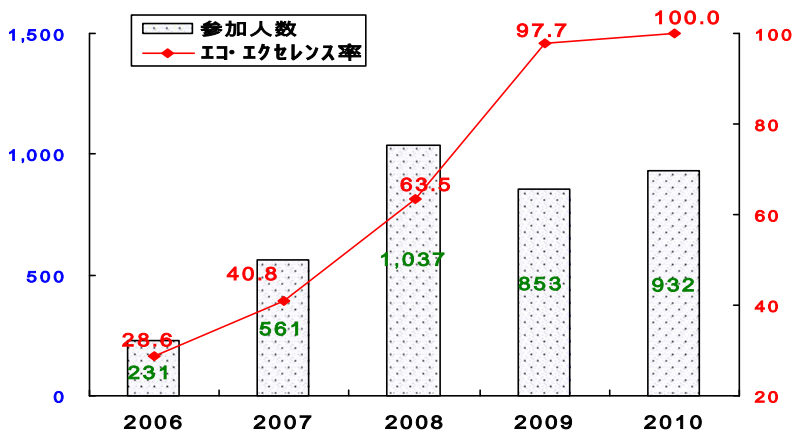
2009年度:1,707人(全従業員の58%)

参加者にペットボトル空容器を加工したタオルを配布しました。



環境意識調査結果

環境意識調査は、第5回目となりますが、年々、エコ・エクセレンス率は向上し、2010年度の調査では、目標の70%を大きく上まわり、100%を達成することができました。



「NEC Virtual Forest」への参画

「NEC Virtual Forest」とは、環境にやさしい行動を自主的に登録することで、Web上にバーチャル植樹を行うもので、当社は273名が参加し、CO2削減量ランキング、バーチャル植樹本数ランキング、共にNECグループ第3位という成果を得ました。

3. 2010年度環境目標・実績(主な項目)

活動項目	2010年度 目標	2010年度 実績	評価
地球温暖化防止			
CO ₂ 排出量(絶対値)削減 (2009年度比)	- 1% 3,519トン	+0.8% 3,583トン	×
資源循環			
1食あたりの生ゴミ発生量の削減	34.0g/食	35.5g/食	×
意識啓発			
高環境意識(エコ・イクセレンス)層拡大	70%	100%	
リスクミニマムの推進			
法遵守の徹底	100%	100%	
環境配慮の推進			
環境貢献商品の販売促進	435万円	554万円	
補助材料費の削減	-23.3%	-36.3%	
ヘルシーランチの提供推進	911食/日	961食/日	
アメニティ類の使用量削減 (2006年度比)	-5.6%	-11.3%	
省エネ提案件数の増加	17件	17件	
エコキャップ回収活動の推進	30万個	78.5万個	

【評価基準】 ○ : 達成、 △ : 未達成(10%以内)、 × : 未達成(10%以上)

4. 主な環境負荷低減活動

(1) 電力使用量削減(省エネ推進・CO₂削減)



飲料等の冷蔵ストッカーは販売時間以外エコーカーテンを閉めています。【売店】



省エネタイプの自販機を積極的に導入し切り替えました。【売店】



パソコンは離籍時や退社時、ディスプレイの電源をOFFにしています。



調理機器は未使用時、電源をOFFにしています。(長時間の予備加熱を禁止)【食堂】

(2) 廃棄物排出量削減・リサイクル推進

生ゴミ排出量削減

< 調理ロス対策 >



フーズターミナル品川において、野菜の1次加工を集中的に効率よく行なうことで、全体の野菜くずを削減しています。



調理技術向上の研修会を実施し、調理におけるムダ(材料・熱量)が発生しないよう努めています。

< 売れ残り対策 >



時間帯別に販売状況管理し、食材等の発注数量の最適化に努めています。



商品のアピール点を紹介したPOPを掲示し、購買を推進しています。

< 食べ残り対策 >



販売前に盛付、味見の再チェックを行ない、お客さまへおいしい食事を提供しています。



温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たく、適温販売を徹底しています。

< その他対策 >



発生した生ゴミは、生ゴミ処理機により肥料等にリサイクルしています。



生ゴミは、よく水を切り、粉砕機にかけ減容しています。

廃プラ排出量削減



洗剤容器の空き容器は専用棚に保管し、業者に持ち帰ってもらっています。



ペットボトルは、分別容器を設置し、ベンダーに持ち帰ってもらっています。



「レジ、で、エコ」というレジ袋の削減活動をNECと協同して推進しています。



各種エコバックを用意し販売するとともに、レジ袋の削減を推進しています。

食用油排出量削減



揚げ物の食廃油については、酸化度測定をし、使用基準を守って廃棄(リサイクル)しています。



使用した食廃油は劣化が進まないよう酸化を防止した適正容器に保管しています。

(3) 環境貢献商品の販売促進

リテール事業部では、環境配慮商品として、省エネ電球、エネループ、エコバッグ等の販売を推進しました。



省エネ(LED)電球



エネループ充電電池



エネループ携帯カイロ



ステンレスマグボトル

事業部内の企画会議においても、エコ商品の検討を重ね、新商品開発に力を入れております。



ソーラー充電器



電動アシスト自転車(アシスタ)

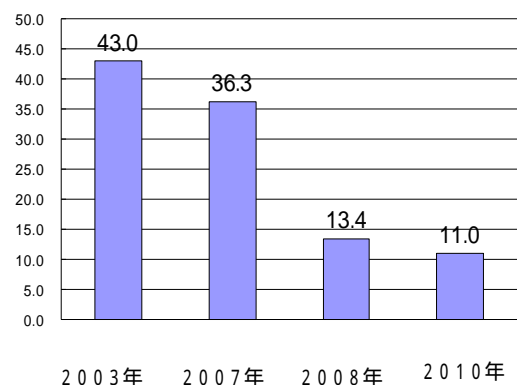
また、我孫子地区においては、NEC環境推進センターと協働で、環境にやさしい「せっけんの街」商品(手賀沼せっけん)のデモ販売を行ないました。



(4) 「レジ、で、エコ」の推進

2003年10月から、レジ袋を削減するキャンペーン「レジでエコ」活動を開始し、2008年には、各種ツールを積極的に用い、現在NECグループ36拠点、レジ袋使用率も当初43%から、現在、約11%と大幅に効果を上げています。

【レジ袋使用率】



(5)ヘルシーランチの提供促進

FC事業部では、健康支援活動として、ヘルシーランチの販売を促進するため、栄養展示会の開催、栄養メモによる情報発信などを展開いたしました。

「ヘルシーランチ」は、1986年からスタートし現在、33食堂で1日2,200食を提供しています。

栄養展示会の開催



毎年1回、全社員食堂において、「食」の取り組みとして栄養展示会を開催しております。

メタボ対策や疲労回復のために野菜や果物の摂取が大切なことをパネル展示でアピールするとともに、野菜や果物の展示、果物クイズ等のイベントを行いました。

栄養メモによる情報発信

「健康」「栄養」といった情報を取り上げ、情報発信をしようと、1975年、栄養メモ第1号が発行され、現在、第379号の発行に至っています。栄養メモは、多くのお客様にとって食事の時間の身近な情報源として、長年にわたり親しまれていただいています。



ヘルシーメニューコンテスト・ヘルシーランチ説明会の実施



H23年7月 ヘルシーメニューコンテストが開催されました。300件あまりのご応募をいただき、グランプリ、入選作品は、お客様へのメニューとして提供いたしました。



また、NECの各地区健康管理センターのドクターと保健看護職の方からいただいた『ヘルシーランチ』に関するアンケート結果(15項目の個別評価等)を分析し、当社の対応や『ヘルシーランチ』の特徴の説明会を開催し、NHKの朝のニュースでも紹介されました。

(6) 食品循環システムの構築

玉川食堂では、NEC環境推進部玉川環境管理センターと連携し1日に約200kgの食品廃棄物を生ゴミ処理機でコンポスト化し、「JAセレサ川崎」に提供し、その堆肥で育った野菜を、食堂の食材として購入するという**食物循環型システム**を構築しました。これにより、食品廃棄物排出量を40t/年減量でき、廃棄物運送(100km)にかかるCO2排出量が464kg-CO2/年削減しました。



(7) 地産地消の展開

地元食材を取り入れたメニューの開発に力を入れ、地産地消フェアの開催、メニューコンテストへの応募等、地産地消の展開に積極的にチャレンジしています。これにより、物流の簡素化(500km)を図られ、その食材(1,200t)の運送にかかわるCO2排出量を69,600kg-CO2/年削減しました。



NECセミコン関西福井食堂
赤カレイの販売



関西ビル食堂
近隣地野菜の展示

5. 2011年度環境目標

活動項目	2011年度 目標	備考
地球温暖化防止		
CO ₂ 排出量絶対値削減	3,193トン	2010年度比 -1%
資源循環		
1食あたりの生ゴミ発生量の削減	33.5g/食以下	2010年度実績以下
意識啓発		
環境教育の受講率の向上	95%	
生物多様性貢献MDD 運動等への参加	30人	
リスクミニマムの推進		
法遵守の徹底	100%	
環境配慮の推進		
環境貢献商品の販売促進	414百万円	
ヘルシーランチの提供食数の増加	1,177食/日	
省エネ改善提案の推進	18件	
エコカップ回収活動の推進	60万個	

6. 社会貢献活動



(1) 備蓄米、で、社会貢献

NECの京浜地区11拠点の食堂(本社ビル、我孫子、府中、相模原、春日ビル食堂G、玉川)で、8月よりNECの災害用備蓄米(アルファ米)を味つけご飯に加工した販売を開始した。これにより、月に約1トンの廃棄物が削減できました。

541食/日×100g/食=54kg/日 約1トン/月の削減

また、この企画は国連世界食糧計画(WFP)の学校給食プログラムに賛同し、備蓄食料品を活用した、「備蓄米、で、社会貢献」活動の一環として行われており、喫食代金の一部がWFPに寄付されました。

寄付金は、約300万円

(2) 災害対策備蓄品の寄贈



NEC社会貢献室を通じて「NPO法人ビッグイシュー基金」(ホームレスの人への支援活動団体)に災害対策備蓄品のカロリーメイト1,423箱(2,846本)を寄贈しました。

(3) 川崎「2010花と緑の交流会」への出展

11月28日、川崎市公園緑地協会、川崎市環境局緑政部主催による、「花と緑の交流会」が開催され、当社もNEC玉川環境様と参加し、生ごみ削減活動等のパネル展示を行ない、地域住民へ当社の環境活動を紹介いたしました。



環境アニュアルレポート2011

株式会社NECライベックス

〒108-8305 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル6F TEL:03-3455-0333(代表)

発行日:2011年11月1日 次回発行予定:2012年7月

発行責任者:高瀬 俊士

お問い合わせ先:人事総務部 環境衛生安全管理室

TEL.03-3455-0086、FAX.03-3455-0337

本報告書はインターネットでもご覧いただけます。

[Http://www.neclivex.co.jp/](http://www.neclivex.co.jp/)